

No	種類	頁	主な意見	対応状況
1	骨子案からの修正箇所(基本理念)	15	15pの図の上部「教育を取り巻く変化・社会の要請」について、小文字の部分(情報化、障害の有無など)が入ると限定的に見えてしまうので、太字の部分だけの記載でよいのではないか。	ご指摘のとおり修正しました。
2	各種施策の関連性	22	施策間の関連、融合しながら存在していることが分かれると良い。学生には仙台市の教員になりたいと思ってもらうよう、そして全部が教員の負担になるのではないということが伝わるとよい。マトリクスでなくても可。	第4章-4(p22)の冒頭において、教育施策の体系が「基本方針＞施策＞事業」であることの説明と、複数の基本方針・施策に関連する事業の例示を行いました。
3			各種施策全体の関連づけ、横断的な視点も必要。学校現場で取り組む際に、関連性が分かれると良い。 例えば、施策1-4と施策3-1の両方に「人権教育」が含まれているし、施策3-2の「障害理解教育の推進」は施策1-4、3-1にも通じるものがある。また、施策2-6で「義務教育9年間を通して」、施策3-2で「各ライフステージにおける切れ目のない支援」と、それぞれの取組方針で記載しているのも、関連性があるのではないか。	
4	施策1-2	25	取組方針の3つ目について、「学習機会を確保」という表現を「保障」にすると、やわらかい表現になってよいと思う。	ご指摘のとおり修正しました。
5	施策1-3	26	相談の窓口や進路に関する情報を適切に提供することが必要。Withやパンフレットを全家庭に配布しており、そうした情報提供の取組も、取組方針や取組状況に加えてほしい。	取組状況や取組方針において、情報提供の取組について記載しました。
6	施策1-4	27	取組状況は他にもあるのではないか。例えば、たくましく生きる力育成プログラムの実践による自己肯定感の育成や、命を大切にする教育におけるストレスマネジメントやソーシャルスキルトレーニングなど、取組状況をもっと記載できるのではないか。	取組状況や取組方針において、命を大切にする学習や自己肯定感を育む取組について記載しました。
7			不登校や不安にならないような、安心して学べる環境づくりについての記載が少ない。自分の成長や自分づくり(昨日の自分と比較して今日ではできるようになった、自分の成長を感じることの積み重ね)といったことが、「安心できる」につながるのではないか。ここがないと、適応指導教室がいくらあっても改善しないのではないか。	
8			いじめの対処療法メインではなく、学級経営力を養い、集団を育てることがいじめの未然防止の効果的。学級経営力を養うことや子どもたちが自分たちを律することができる集団を作っていくことを追記してほしい。	
9	施策2-1	28	取組方針の2つ目について、ALTの活用が書いているが、海外派遣経験者の活用も盛り込んでほしい。例えば、海外派遣経験のある嘱託社教主事がいれば、学校と地域を国際面でつなぐコーディネーターの役割が期待できる。	取組方針において、海外派遣経験者の活用について記載しました。
10	施策2-2	29	自分づくり教育が職業関連のイベント的な学びで終わってしまわないよう、児童生徒が学ぶことの意義を実感できるようにしていくことが重要。	ご指摘を踏まえ、取組方針を修正しました。
11	施策2-4	31	不登校や多文化対応だけではなく、特性に応じた学びも大切。ギフテッドなど学習能力の高い子どもには、東北大や社会教育施設との連携による個に応じた学びの機会の確保。逆に学習能力が低い子どもにはICTや地域人材を活用した小集団の学びなど。	取組方針において、一人ひとりの特性や学習の理解度等に合わせた個別最適な学びについて記載しました。
12			学習能力が高い子や発達障害の子は普段の授業に興味を持てないこともあり、その対応については文科省でもどういったサポートが必要か検討している。	
13	施策2-5	32	タイトルの「ICTを活用した」という部分について、ICTを道具として活用する従来型の延長という印象を受けないか心配。 文科省ではICTではなく「デジタル学習基盤」と呼んでおり、授業中のアプリ利用だけではなく、学習者用のデジタル教材の活用や学習データの利活用も含まれている。将来的には生成AIの活用も含めて、教育の質の向上を目指していく、ということまで含んでいる。こういったものを使って教育の質の向上を図る基盤だというニュアンスが出ればよいと思う。	タイトルを「デジタル学習基盤を活用した協働的で一人ひとりに適切な学びの推進」に修正しました。

No	種類	頁	主な意見	対応状況
14	施策2-5	32	「情報モラル・情報リテラシー」ではなく、「情報モラル・メディアリテラシー」ではないか。また、情報モラルに特化されている理由が伝わりにくい。生成AIなどの情報技術の急速な発展を踏まえ、情報モラル・メディアリテラシーについて、一層の向上を図ることが重要なのではないか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、取組状況・取組方針を修正しました。
15			情報活用能力の育成について、自律的な学びや探究的な学びを実現するという目的が伝わるようにしてほしい。	
16			プログラミングやSTEAM教育について、これまでの取組に盛り込むことと、生成AIの活用とあわせて検討し、取組方針にも入れてほしい。	
17			AIについて、これからの時代はちゃんと使えることが大事とは思いますが、自殺ほう助をするなどの危険性もある。そういったことを含めてAIを使うこととはどういうことか学ぶ必要がある。	
18	施策2-8	35	食物アレルギーを持つこどもは増加・多様化しており、単なる「アレルギー対応」にとどまらず、こどもたちが自分たちの望ましい食習慣を身に付ける取組が必要。自分に合った食を選ぶ力、仲間と共に安全に食を楽しむ力。そういった食育が充実すればよいと思った。	取組方針において、食育に関する学習の機会の充実について記載しました。
19	施策4-1	40	総合教育会議で「あらゆる市民が学び合える社会」という意見があったので、タイトルに「学び合う」とか「市民の主体的でかわりあう学びの支援」とか、つながりを感じる表現があると良い。	タイトルを「あらゆる市民が主体的に学び合える環境の充実」に修正しました。
20	施策4-2	41	博物館について、施設単体の価値に加えて、青葉城エリア一体で学びを深めることができる。仙台市の歴史的、教育的な価値を活かすことが、理念の「まちが人を作る」になるのではないか。周辺の歴史的価値や周辺環境が持つ魅力を活かすということも盛り込んでほしい。	ご指摘を踏まえ、博物館における取組方針の記述を修正しました。
21			学校現場と社会教育施設とをつなぐ積極的なICT活用、ネットワーク活用について明確に記述できないか。	
22	施策4-3	43	障害理解教育とは何なのかきちんと考える必要がある。教育構想に入れるべきかという問題はあるが、あらゆることに関して、どうすれば一緒にできるようになるのかを考えることが、本来の障害理解教育の在り方。	取組方針において、障害のある人もない人も、ともに学び合える機会の拡大に向けたノウハウの普及等について記載しました。
23			学校教育の時から生涯学習を意識した取り組みが行われると良い。	
24	施策4-4	44	学校と社会教育の連動が大切だと感じた。例えば、キャリア教育などを地域と結びつけば、学びが社会に役立つことや、大人が学び続ける姿勢を目の当たりにするが、こどもにも良い影響を与えることも期待できる。	取組方針において、学校と社会教育の連動について記載しました。
25	施策5-1	47	取組方針の3つ目について、先生方が生き生きするためには、お互いにコミュニケーションをとれる環境が大切。デジタル化で生み出した時間を活用して対話する時間を意識的に創出するとか、具体的な方針を盛り込めないか。	取組方針において、業務効率化がコミュニケーションの充実につながる環境づくりについて記載しました。
26			校務でのICT活用について、「効率化」の側面のみから記述されている印象があるが、教育委員会や学校が保有する各種データの連携・活用や、今後は生成AIの活用も想定しながら校務DXにより「高度化」を図っていくことが重要ではないか。	
27	施策5-2	48	ペーパーティーチャーに、学校に関わりたと思ってもらえる風通しの良さが必要。必要な教員数の確保とあるが、教員に限らず、学習サポーターなどの確保につながるとうい。	取組状況において、講師数の確保に向けた取組について記載しました。
28	施策5-3	49	市民センター職員の方が嘱託社会教育主事よりも圧倒的に人数が多いので、社会教育施設職員研修がメイン。主な事業の順番を入れ替えてほしい。	ご指摘のとおり修正しました。
29	施策5-9	52	熱中症対策として、特別教室や給食配膳室への空調整備は不可欠であり、取組方針に加えてほしい。	ご指摘の趣旨を踏まえ、取組方針を修正しました。
30	施策5-10	53	ICT環境をデジタル学習基盤と位置付けることで、単にこれまでの延長で端末やデジタル教材、ネットワークの維持・更新ができればそれで良いということを超えて、デジタル・トランスフォーメーションが意味するような変革や新たな価値の創出の実現へと向かう意志を示せるのではないか。「デジタル学習基盤」という言葉が使い難いという場合でも、「学習の基盤」という言い方をしておくことで、デジタル学習基盤の構成要素の整備・充実を図っていくと読めるようにしておくとういのではないか。 また、ネットワークに関しては、これまでも増設・増強に努めてきたと思うが、今後も必要な拡充を視野に入れてほしい。	タイトルを「デジタル学習基盤の整備」に修正するとともに、取組状況・取組方針を修正しました。
31	用語集	60	キャリアステージに応じた研修は教育センターが中心になっており、それが市民に伝わるように教育センターやアーチル、杜のひろばについても用語集に入れてほしい。	中間案で新たに追加した用語集に、ご指摘の単語を盛り込みました。